

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県鶴見警察署協議会
日時	令和5年11月6日(月)午後2時から午後4時30分までの間
場所	神奈川県鶴見警察署講堂
出席者	<p>1 警察署協議会側</p> <p>会長 谷 亜由美      副会長 小林 政仁</p> <p>委員 北島 理恵子    門倉 卓雄    菊地 身知子    長澤 尚明    伊藤 文雄</p> <p>         浦木 隆弘      金子 剛士    永井 恒雄      堀野 弘樹    本田 文男</p> <p style="text-align: right;">計12人</p> <p>2 警察署側</p> <p>署長                    飯塚 博史      警務課長            中村 真也</p> <p>副署長                相川 努        生活安全課長      梶原 裕貴</p> <p>地域担当次長        松沢 英之      交通課長            市原 祐一</p> <p>刑事生安担当次長 山口 晃央      警備課長            橋本 和則</p> <p style="text-align: right;">計8人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	「少年非行防止」について
	1 答申
	(1) 少年・保護者に対する啓蒙が必要
	(2) 地域(警察を含む)でのパトロールを地道に継続してほしい
(3) 学校・家庭・地域との連携の継続・強化	
2 措置結果	
(1) 少年・保護者に対する啓蒙が必要	
少年係の係長が、保護者、少年補導員に対し、少年非行防止教室を開催し、スライドで説明した。	
また、少年係員とスクールサポーターが小・中学校に行き、非行防止教室を実施し、スマートフォンの使用等について説明した。	
(2) 地域(警察を含む)でのパトロールを地道に継続してほしい	
商業施設等を当署の少年補導員と港北警察署の少年補導員との合同パトロールを実施した。	
また、小野町地区で合同パトロールを実施した。	
今後も継続していく。	
(3) 学校・家庭・地域との連携の継続・強化	
中学校専任会において、SNSの危険性やスマートフォンの依存について非行防止講話を行った。	
また、当署と行政機関、区内の小中学校とが連携して、小学校の給食で発生した生ごみを花壇の肥料とし、当署の花壇に花を植えて育てる活動を行った。	
諮問	
「アクティブ交番の効果的な運用」について	
答申	

	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 アクティブ交番とは何かを区内全域に周知する。</li> <li>2 三角、矢向エリアを限定した周知については明確に住民に時間・場所が分かるようにする。</li> <li>3 他のエリアでもアクティブ交番を開設できるように検討する。</li> <li>4 遠くから見てもわかるように普通のパトカーとの差別化を行ってほしい。(赤色灯の点灯、のぼり旗等)</li> <li>5 人通りの多い時間帯の開設時間の再検討を行ってほしい。(朝や夕方の登下校時)</li> </ol>
	業務説明
	前四半期（令和5年7月から9月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和5年10月から12月まで）の業務推進重点について説明を行った。
備 考	視察
	・サイバー犯罪捜査の体験を行った。
	視察後の協議会からの意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しくてなかなか問題が解けなかった。</li> <li>・勉強になった。プライベートでも使える知識だった。</li> <li>・もっといろんな問題を解いてみたい。</li> </ul>